

□議員名：山田 伸幸

1 有帆団地の水道と排水問題

論点	市営有帆団地の4階建て住宅は水道の出が悪い。どのように対処するのか。
回答	白ガス管が使用されており、管内にさび付いているので洗い流す作業をおこなっていききたい。また、水道管に圧をかけていく試験を実施したいが、寒い時期はできないので3月頃に耐圧試験を実施する。

論点	有帆市営住宅の生活雑排水が、処理されないまま有帆川に垂れ流しになっている。このまま放置するのか。
回答	衛生上、好ましくない状況にあることは認識している。団地の4階建てのほうが単独の浄化槽でそのまま垂れ流しの状態。その他の住宅は全てくみ取りであり、未処理のまま垂れ流しの状態になっている。 合併浄化槽に切りかえると多大な費用がかかる。 市営住宅は、人口減少で必要戸数の見直しも求められている。 多額の事業費を要する工事については、今後、再編を含めた長寿命化計画を策定して対応していききたい。

2 住宅リフォーム資金助成事業について

論点	自宅を所有する夫が長期出張でいない家庭が、妻名義で住宅リフォーム資金助成を申請すると、夫以外の申請を認めないとして却下したが、制度の改正が必要ではないのか。
回答	制度の問題点である。新年度の募集前に要綱を見直していききたい。

論点	個人の住宅だけでなく、先進地でも取り組まれている店舗や事業所などにも適用を広げていく考えはないか。
回答	全国的に実施する自治体が増えている。その目的は中心市街地など特定のエリアのにぎわいの創出や地域経済の振興を図るというものが多く見受けられ、地域経済の刺激策であるとともに、近年増加傾向にある空き店舗の利活用にもつながるものであると考えている。店舗リフォームの取り組みは、市のにぎわいと活力を創出するためにも重要な施策であると考えており今後、調査研究していく。

3 小野田青果市場の運営正常化について

論点	中央青果のあり方について藤田市長は9月議会で、中央青果の正常化について年内の方向性を決めたい、このように答弁をした。どのように方向性を決めたのか。
回答	小野田中央青果と小野田青果販売の2社の経営状態を正確に把握することが最優先であり、そのために第三者的な立場の外部の税理士の会計の監査を依頼している。経営分析の結果をもって、今後の経営体制等の方向性を定めていく。

論点	9月議会後に役員会で会計監査について決めているのに、2ヶ月間も放置したのはなぜか。小野田青果販売は条例違反と指摘してきた。どうするのか。
回答	社長と意見が食い違っていた。力不足であった。 小野田青果販売については廃止の方向で検討中である。

論点	中央青果の不正常な運営が明らかになって以降、取扱高が急激に落ち込んでいる。正常化が急がれるのではないのか。
回答	出荷者離れが進んでいる。打開策のためにも経営分析の上で検討したい。